

2月 モニターレポート		担当出張所	福島出張所
担当区間	淀川下流左岸		
モニター実施日時	令和2年2月15日(土) 10時50分～13時頃		
天 候	曇り		

(見出し)

曇り空でしたが風も弱く気温も11℃位と今の時期堤防沿いを移動するには良いタイミングと思いモニタリングに出かけました。

(内 容)

今日は川上からの風の為、淀川大橋より河口に向かいスタートすることにしました。

淀川大橋に向かう途中、伝法大橋袂の伝法中公園を通ると梅の花が咲きメジロが枝から枝へと飛び移っていました。春が近づいて来ているようです。



いつものようにL4.4より堤防下に降り淀川大橋の下に向かいました。

堤防下の一带は全て枯れ極めて地味な色合い。

淀川大橋下から阪神電車橋脚下一帯の川面は人影も少なく水鳥の憩いの場になっている。

今日は風も弱く穏やか。但し、川の水は濁っていて川岸は濃い緑がかって見えた。



堤防下の道の真ん中に焚火をしたのか炭になった木の残骸が放置してあった。周りには枯れた草木が多く燃え移る可能性が有り大変危険で迷惑な行為だ。

堤防道路から投げ込まれたと思われるゴミも堤防下に見られた。

集められたゴミが袋に入れられ集積されている所に明らかに投棄されたと思われるチラシの塊、紙包みのままの物も見られた。集積されたゴミ袋等はなるべく早く回収されないと不法投棄される物が増えていくように思います。



阪神高速神戸線横の高見機場の取水口の所には水面にも地面にもカモと思われる水鳥が群れになって休んでいた。人が近づかないことが分かっているような光景です。



伝法大橋を越えたところの緩やかな堤防斜面のコンクリートのマスの中に水仙が植え付けられ一部花が咲いていた。先月は気が付かなかった。

川中の警戒船も今日のはどかに見えた。



L2.6近くの音声情報提供設備のある堤防道路下にソテツと思われる植物が3本見られた。誰かが植えたのか種子が飛んできたのか？

伝法水門近くのテトラポット。川鶉のフンで白くなっていた。川鶉はこのタイプのテトラポットが好きなのか他の場所にある同タイプのテトラポットも同様にフンで白くなっていた。

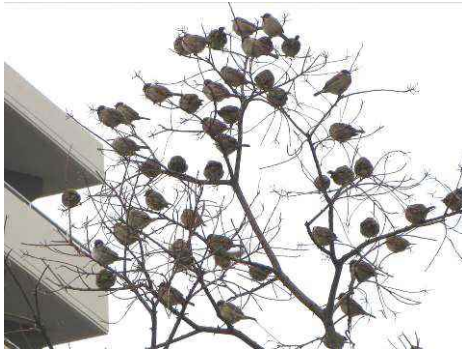


伝法水門の入口に流木がかかっていた。また流れていくのだから危険な漂流物だ。

水門の中には又2匹のヌートリアがいた。今回は餌となるキャベツの葉等は見受けられなかった。



西島4丁目の公社ハイツの横。木の枝にスズメが鈴なりにになっていた。堤防斜面がきれいに刈り込まれたので鳥たちの格好のえさ場になっていた。



川岸の流木にトビ？と思われる鳥が羽を休めていた。
川岸には相変わらず流木が留まっていた。



L0.0付近の水防用具庫の辺りから河口に向かっての道路側法面のゴミが多くなっているような気がする。



特に阪神高速湾岸線の辺りからのごみの量はひどい。
この辺り、平日には路上で弁当が売られていることもあり多くの車両が止まっている。飲食のゴミが多く

何故か同じペットボトルが目についた。嘆かわしいの一言に尽きる。人目に付かないと思って捨てていくのか。この日は土曜日でしたが駐車車両は結構ありました。



今月のレポートは以上です。

追加です。

2月2日の朝、自宅の窓から異様な数の鳥の群れが飛んでいるのを目にし、淀川に着水したのを確認。直ぐに行って見たら川鵜の大群でした。



(意見・感想・処置等)

2月レポート報告ありがとうございます。

2月に入り、梅の花が咲き、メジロが飛び交う風景は初春の訪れを実感します。また淀川は近隣住民の方々だけでなく、たくさんの渡り鳥が羽を休める憩いの場にもなっています。

しかしながら、多量のゴミ投棄や焚き火でせつかくの憩いの場の淀川がよごされているのはとても残念なことです。特にこのシーズンの焚き火は、報告にありますように周りに枯れ草等が多く大火災になる危険があり絶対に行わないでください。

伝法水門付近のヌードリアにキャベツの葉などの餌を与えている人がいるようですが、特定外来種で駆除対象の動物なので餌はあげないようにしてください。

今年は暖冬傾向で過ごしやすい日が続いていますが、2月なので時々寒の戻りがあります。体調管理には気をつけてモニター活動を続けてください。